

趣 意 書

1. 趣旨

2011年、震災後の夏、被災地福島を元気づけようと、たくさんのひまわりの種が全国から福島へよせられました。私たちは、この大きく育ったひまわりから、人々の暖かさと大地に生きる元気をもらったような気がします。

私たちは、この多くの全国の方々との絆を深めながら、この長期化する被災地の復興への支援をお願いするため、「ひまわりプロジェクト」を提案し、協力者を募ることといたしました。

シャロームは、長年、障がい者を支援するNPO法人として活動して参りました。その一つに、震災以前から、障がい者と農家の方々が協力しながら、ひまわり油を取るための「食用ひまわり」栽培がありました。これらの活動の中から、障がい者施設の立ち上げも計画されておりましたが、今回の原発事故で状況は一変し、土壤汚染の明らかな土地でのひまわり油の生産は断念しなければならなくなりました。

ひまわりの種を送り福島を励ましていただいたみなさんとの交流の中で、「来年からは私たちが種を送っていただいて栽培し、ひまわり油の原料としての種を送り返しましょう。」との提案をいただき、この提案を、障がい者支援のための授産事業として、また、ふくしまと全国の支援して下さるみなさんとの絆事業として、新たな「ひまわりプロジェクト」に取り組んでいくことといたしました。

この事業が全国に広がり、「ふくしま」と「ふくしまを支援するの方々」との絆となっていくことを願っています。

2. 内容

ひまわりの栽培を協力していただける方を全国から募り、シャロームからひまわり油を取る特定の品種の種をお送りします。自宅の庭などで栽培し花を楽しんだ後で、種を採取してシャロームへ送り返していただきます。

シャロームでは、これから油を取り、ひまわり油に加工し製品化します。これは広く授産製品として、障がい者支援に役立てていきます。

<手順>

当事業の協力者を広く募る

↓

協力者の申し出を受け、申請書の作成受理（1～3月）

↓

申込者の裁判予定面積等に合わせ種を発送（4月）

↓

種を収穫後シャロームへ返送（9～10月）

主催 NPO法人シャローム

「ひまわりプロジェクト実行委員会」